

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和6年 1月17日

事業所名:合同会社 るぴなす

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	ボール、サーキットなどのびのび体を動かして遊べるように工夫しています	○	さらに、のびのびと療育出来るよう工夫していく予定
	2 職員の適切な配置	常に3名は確保している	○	現状を維持する予定です
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関に階段があり、転倒しないように見守りを徹底するようスタッフには連携している。落ち着けるコーナーを用意し、その都度利用して頂いている	○	現状を維持する予定です
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃,消毒の徹底をしており、活動やタイムングに合わせて場所を設定している	○	その都度最善の衛生状態になるように工夫しています
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	スタッフミーティングでお子様、保護者様、スタッフ、業務について意見交換を実施している		現状を維持する予定です
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません		今後に向けて検討したいと考えています
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修には積極的に参加しております。また会議での研修報告もしています		現状を維持する予定です
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	全体的に書式を見直しました		現状を維持する予定です
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	その時のお子様の様子を見て活動を計画、し支援計画書も見直しています	○	現状を維持する予定です
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	分かりやすくなるよう全体的に書式を見直しました		現状を維持する予定です

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施するよう心掛けています	○	より丁寧にご説明ができるように検討していきます
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	個別療育、集団療育のプログラムはその都度全体で相談しながら週単位で作成しています		現状を維持する予定です
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	できる範囲内で利用者様のご希望の応えられるように心がけています。緊急時の連絡先を用意し対応しています	○	現状を維持する予定です
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節感や行事を大切にしながらいろんな体験ができるように工夫している		現状を維持する予定です
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	月案、週案、日案、を製作し情報共有、毎日のミーティングで意見交換しています		現状を維持する予定です
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	各自、記録に残してもらいながら、その都度情報共有、意見交換をしています		現状を維持する予定です
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日の個人記録の記入、支援計画、検査結果、支援会議の書類は全スタッフ周知しています		現状を維持する予定です
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度、モニタリングの実施をしている。お子様の状態によっては時期を早めて面談を行っている		現状を維持する予定です

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達管理責任者が参加しています		現状を維持する予定です
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	書類を通して情報提供及び訪問にて情報共有ができるようにしています		現状を維持する予定です
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	可能な範囲で連携をとっています。研修等の受講も同様		現状を維持する予定です
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在機会はありません	わからない	必要に応じて検討したいと考えています
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	リトミック開催や室内解放を検討しています	わからない	感染症の影響がなくなれば実施したいと思います

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	ご見学、ご利用開始に説明しています	○	現状を維持する予定です
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	解説のメモを添える、口頭で説明する等意図や考えを丁寧に伝えられるように心がけています	○	現状を維持する予定です
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	プログラムとしての実施はありませんが、必要に応じて面談や課題を提供して共にトレーニングしています	○	現状を維持する予定です
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や口頭伝達等ご利用時にお伝えしています	○	必要に応じて検討したいと考えています
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	こちらから覗く事もありますし、保護者様からご相談を頂くことも多々あります。面接を行うこともあります。臨機応変に対応しています	○	現状を維持する予定です
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	一度開催しました。参加された保護者の意見をお聞きし検討しています	わからない	必要に応じて検討したいと考えています
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情はない。重要事項説明書に窓口を記載している	わからない	現状を維持する予定です
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳、口頭伝達等の方法を設けています	○	現状を維持する予定です
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のおたより、不定期ですがホームページでの活動を実施しています。イン스타그램もはじめました	○	現状を維持する予定です
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	何に使用するのか保護者様へ情報公開の意図説明はしています	○	現状を維持する予定です

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	防犯、感染症のマニュアルを作成し職員への周知もその都度行っています	わからない	保護者の方へ分かり易く情報提供ができるように早急に検討します
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的な避難訓練を実施し集団療育で絵本、カード等を視覚通して分かり易く伝えています。災害を含む緊急時の対応は書面にて各ご家族へ書面にて配布済です	わからない	保護者の方へ分かり易く情報提供ができるように早急に検討します
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	市研修の研修に参加会議にてスタッフと共有しています		現状を維持する予定です
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	実施した実績ありませんが、今後も知識や対応方法について常に念頭に置けるよう情報共有していく予定です		現状を維持する予定です
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギー対応児が利用の際はその都度保護者のかたと連絡を取りながら行っています		今後も継続できるように考えています
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例を製作し研修や会議等で状況整理、原因究明、今後への修正などを実施している		必要に応じて検討したいと考えています